



2019年4月25日

各 位

会 社 名 三菱マテリアル株式会社
 代 表 者 名 取締役社長 小野 直樹
 (コード番号 5711 東証第1部)
 問 合 せ 先 総務部広報室長 鈴木 信行
 (電 話 番 号 03-5252-5206)

連結業績予想の修正及び個別業績予想の前期実績値との差異
並びに役員報酬の一部返上に関するお知らせ

当社は、下記のとおり 2019 年 2 月 12 日に公表いたしました連結業績予想値を修正するとともに、個別の業績予想値において、前期実績値との差異が生じる見込みであることをお知らせいたします。また、役員報酬の一部返上について、併せてお知らせいたします。

記

1. 2019年3月期通期(2018年4月1日～2019年3月31日)の連結業績予想数値の修正

1) 予想値の修正

	連 結 売 上 高	連 結 営 業 利 益	連 結 経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想 (A)	1,650,000	42,000	52,000	10,000
今回修正予想 (B)	1,663,000	36,800	50,500	1,000
増 減 額 (B - A)	13,000	△5,200	△1,500	△9,000
増 減 率 (%)	0.8	△12.4	△2.9	△90.0
(ご参考) 前期連結実績 (2018年3月期通期)	1,599,533	72,819	79,621	34,595

2) 修正の理由

2019年3月期通期の連結業績予想につきましては、当社において、期末棚卸による棚卸減耗損が発生したこと、繰延税金資産の一部を取り崩す見込みとなったことなどから、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益が前回予想に比べて減少する見込みであります。

当社の金属事業においては、当年度において有価金属の実収効率低下が顕著になっており、その対策として、操業の改善や設備増強、棚卸資産の管理強化を進めてまいりました。当第4四半期において、棚卸資産管理強化のため、一部工程内の設備を解体し、設備内に付着している有価金属を回収・分析した結果、帳簿上の含有量を下回る結果となったことから、棚卸減耗損を売上原価として計上する予定です。

2. 2019年3月期通期（2018年4月1日～2019年3月31日）の個別業績予想値と前期実績値との差異

1) 前期実績値との差異

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前 期 実 績 (A) (2018年3月期通期)	百万円 869,677	百万円 13,732	百万円 31,370	百万円 25,530
今 回 予 想 (B)	852,800	△10,900	5,100	△13,500
増 減 額 (B - A)	△16,877	△24,632	△26,270	△39,030
増 減 率 (%)	△1.9	-	△83.7	-

2) 差異の理由

個別業績予想につきましては、上記1. 2)に記載の理由のほか、直島製錬所において炉修を実施したことや、国内セメント事業における熱エネルギーコストの増加等により、営業利益、経常利益及び当期純利益が減少し、前期実績値との差異が発生する見込みです。

3. 配当予想について

今回の業績予想の修正に伴う配当予想の修正はございません。

4. 役員報酬の一部返上について

上記の事態を踏まえ、以下のとおり報酬を一部返上することといたします。また、2018年度役員賞与（2019年6月支給）は不支給といたします。

取締役社長	月額報酬の30%（3か月間）
取締役 副社長執行役員1名	月額報酬の30%（3か月間）
取締役 専務執行役員1名	月額報酬の30%（3か月間）
取締役 常務執行役員2名	月額報酬の10%（3か月間）
常務執行役員4名	月額報酬の10%（3か月間）

(注) 上記の予想につきましては、発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向等を前提として作成したものであり、今後の様々な要因等により、予想と異なる結果となる可能性があります。

以 上